



12月		11月				10月				9月		8月		7月												
18日	4日	20日	13日	10日	9日	5日	4日	30日	30日	18日	13日	9日	8日	2日	27日	25日	19日	22日	22日	19日	6日	31日	26日	20日	16日	1日
◇第7回旭市民駅伝大会	◇第11回スターライトファンタジー(～24日)	◇第2回旭市民体育祭を開催 ―爽やかな汗深まる絆―	◇東総工業高校が全国準優勝 ―高校生ロケット相撲全国大会―	◇旭市小学校音楽会 ―息の合った演奏―	◇合同金婚式 ―助け合い支え合って50年―	◇震災後初めて津波避難訓練を実施	◇中学校合同文化祭を開催 ―「希望のあさひ」―歩み始めたばかりの未来へ―	◇第7回旭市文化祭(～11月6日) ―日ごろの文化活動を発表―	◇3会場で産業まつりを開催 海上Ⅱ11月23日―① ―旭Ⅱ10月30日、干潟Ⅱ11月6日	◇市内6か所で地区懇談会を開催(～26日)	◇戦没者追悼式 ―戦没者を追悼し平和を祈念―	◇漁協青年部が感謝を込めて飯岡漁港で水産朝市を開催⑨	◇幽学の里で米作り交流事業収穫祭 ―「おいしい!」実りの秋を体感―	◇第89回熊野神社式年御神幸祭 ―伝統の祭り厳かに―⑥	◇旭市で世界ジュニア卓球女子日本代表選考会を開催(～30日)	◇第6回あさひのまつり ―心震わす太鼓の響き―	◇3会場で敬老大会 ―長寿願ひ演芸などを披露―	◇旭二中鈴木夢さんが女子砲丸投げで全国優勝	◇旭市暴力団排除対策協議会を設立 ―暴力団排除へ向け、官民が一致団結―	◇旭市復興計画検討委員会 ―市の復興へ検討始まる―	◇第57回旭市七夕市民まつり(～7日) ―笑顔舞う復興祭―⑦	◇旭市子ども議会 ―小中学生が議会を体験―	◇第7回旭市民音楽祭 ―ホールに響く音色が観客を魅了―	◇新しい農業委員27人が決定	◇平成23年度ミス七夕が決定 ―素敵な笑顔 旭に元気を―	◇7月1日を旭市防犯デーに決定 ―目指せ犯罪ゼロの町―

「広報あさひ」で振り返る

2011年

今年は、3月11日に発生した東日本大震災により、日本中が深い悲しみに包まれました。本市も甚大な被害を受け、多くの行事が中止を余儀なくされました。そんな中でも、復興を支援しようと開催された楽しいイベントや、みんなに元気を与える明るい話題もありました。ここでは「広報あさひ」で紹介した主な出来事を振り返ります。



2月 元気よく一斉にスタート

(A)



4月 笑顔あふれる横綱との交流相撲

(C)



10月 新鮮な魚介類を求める
人のにぎわう飯岡漁港

(H)



8月 熱い踊りが沿道の人たちを
魅了する

(F)



5月 外来者を迎える広く開放的な
エントランスホール

(E)

6月		5月				4月				3月		2月		1月	
20日	20日	29日	24日	22日	7日	2日	1日	14日	11日	9日	1日	27日	19日	11日	27日
◆旭農業高校の生徒らが仮設住宅に緑のカーテンを設置 — 緑のカーテンで、夏を涼しく —	◆飯岡小で手つなぎ遠足 — 大津波を想定した避難訓練 —	◆旭中央病院新本館の診療がスタート — 最先端の高度医療サービスを提供 — (E)	◆旭もつ部会「MO2」が第3位 — 横須賀カレーフエスティバル —	◆飯岡仮設住宅で復興イベント — 芝生の上で、太鼓や吹奏楽を鑑賞 —	◆被災地意見交換会を開催 — 共に考える復旧、復興 —	◆東日本大震災復興支援チャリティーバザー — たくさん買って旭を元気に —	◆飯岡小で手つなぎ遠足 — 大津波を想定した避難訓練 —	◆天皇皇后両陛下が旭市を慰問 — 温かいお言葉に感激 — (D)	◆大相撲幕内力士が旭市を慰問 — 横綱白鵬関らと相撲交流 — (C)	◆若手農業者が都内で旭市産農産物の安全をアピール — 原発による風評被害を払拭 —	◆飯岡漁港で震災後初の水揚げ — 復活に向け一歩ずつ —	◆旭市産農産物の安全をアピール — 原発による風評被害を払拭 —	◆旭市産農産物の安全をアピール — 原発による風評被害を払拭 —	◆旭市産農産物の安全をアピール — 原発による風評被害を払拭 —	◆旭市産農産物の安全をアピール — 原発による風評被害を払拭 —